

事業評価シート（平成27年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	市民の図書館体験事業		
事業担当	社会教育部 中央図書館		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'05	基本目標5 安全で、みんなが快適に暮らせるまち	
	'03	③〈利便性〉誰もが快適に利用できるよう、公共施設などの利便性を高める	
	'02	2 市民ニーズに合った公共施設の適正な管理と運営を進める	
根拠法令等			
対象・受益者	市民	事業期間	
委託・協働	【委託: 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働: 】		
	目的・目標		事業の概要
市民が図書館業務に理解と関心を持つことにより、市民と協働で図書館運営が行われています。		図書館業務への理解と関心を高めるため、図書館業務の体験事業を実施します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	図書館体験事業実施回数			単位	回
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	実績	29	30	33		
活動指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	実績					
成果指標①	指標名	図書館体験事業参加者数			単位	人
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	実績	203	169	206		
成果指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	実績					
進捗状況	①：予定どおり					
	遅れている理由					
平成27年度の主な取組と成果						
<p>大人向け「市民の図書館体験」を全館で7回実施し、参加者は17人、また、小学生対象の「一日図書館員」を全館で26回実施し参加者は189人でした。書庫見学や業務体験などで図書館への理解を深めていただき、参加者には好評でした。一日図書館員の実施については、例年応募者が少ない高学年(5・6年生)の回を2館・各1回分減らし、応募が多い低学年(1・2年生)の回を2館・各1回分増やし、応募者数は定員を大幅に上回りました。</p>						
平成27年度の検証結果	B：おおむね成果があがった					

項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価	
事業分析	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	書庫内見学や業務の説明を求める声が窓口等で聞かれます。また、市民との協働による図書館運営を目指すため、運営者である図書館から市民への働きかけが必要です。	● 高 ○ 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	継続して行うことにより、更に多くの市民に図書館業務への理解を深めてもらうこと、また市民の要望を直接聞くことで課題を掘り起し業務を改善することが期待できます。	● 高 ○ 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	実施後のアンケートから見る参加者の満足度は高いが、いかに参加者を増やすことができるかが課題です。小学生の参加は例年目標を達成していますが、大人を対象とした体験事業については、内容や開催時期などを見直す必要があります。	○ 高 ● 中 ○ 低
	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	参加者増加のため広報方法の改善と実施時期、内容の見直しが必要です。また参加者が協働のパートナーとなるための工夫が求められます。	○ 高 ● 中 ○ 低
今後に向けた課題の分析 大人向けの体験事業の募集定員は定員に満たず、また、一日図書館員は定員209人に対し、定員を大きく上回る300人の応募がありました。体調不良などの理由により欠席があったため、参加者数は目標を下回りました。今後、より多くの方に参加していただけるよう、日程や内容、周知方法などを検討します。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成25年度 決算額	平成26年度 決算額	平成27年度 決算額
事業内容		一日図書館員、図書館を知ろう講座等の実施	一日図書館員、図書館を知ってもらうための講座等の実施	一日図書館員、図書館を知ってもらうための講座等の実施
財源内訳	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	起債	0	0	0
	その他 特財	0	0	0
	一般財源	0	0	0
事業費 (A)		0	0	0
執行率 (%)		—	—	—

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成29年度の取組方針 小学生対象の「一日図書館員」とともに、大人を対象とした体験事業への参加を増加させるため、より参加しやすい時期・時間とより需要に沿った内容を検討し市民の図書館体験を実施します。
課長コメント 「一日図書館員」は小学生低学年の応募者が多く、参加児童が楽しみながら図書館業務への理解と関心を深めることができ、成果を上げていますが、小学生高学年以上の参加者は思うように応募が伸びていない状況です。今後、より参加しやすい時期・時間の設定とより魅力的な内容を検討します。